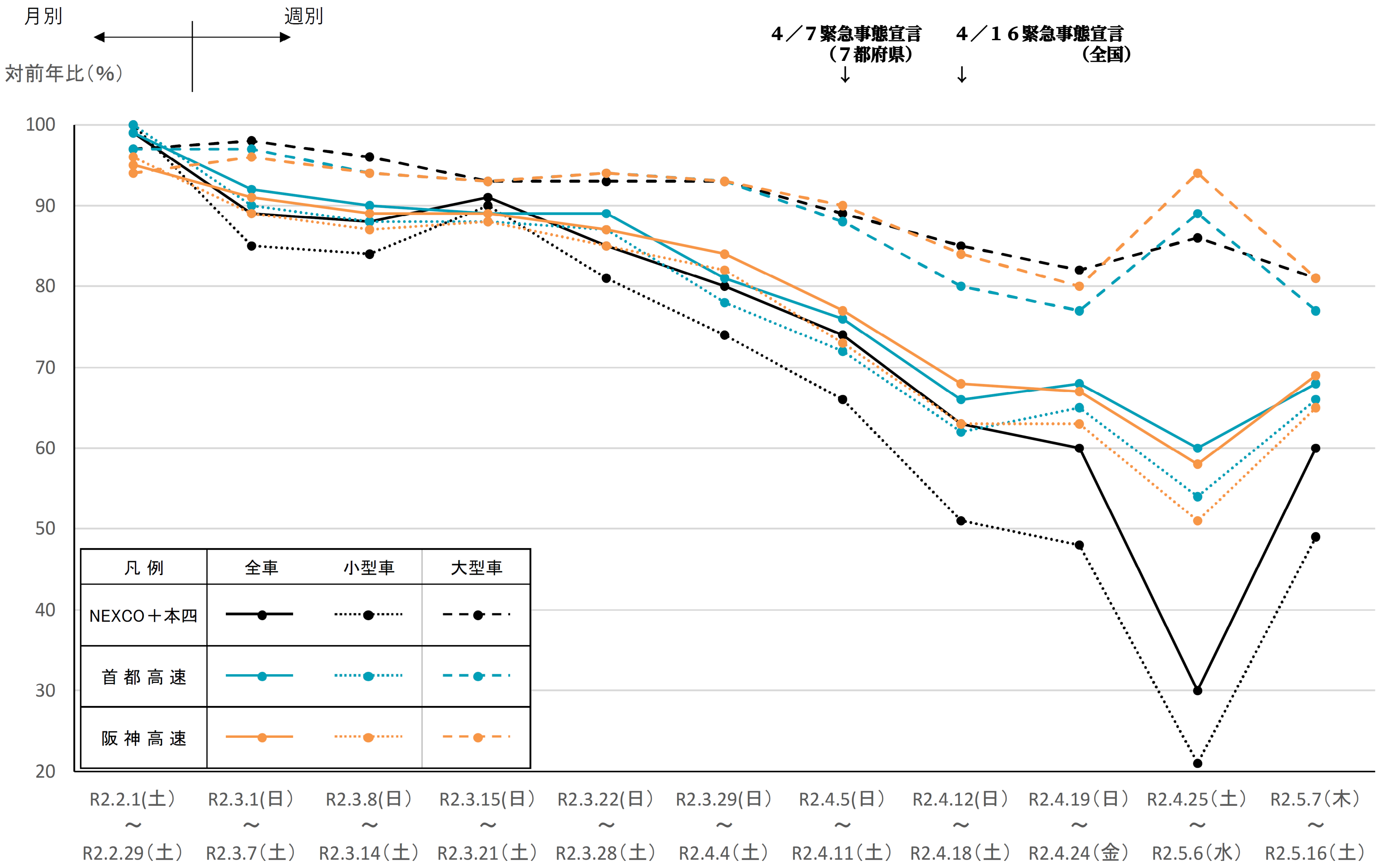
資料１

最近の道路交通状況について

高速道路の週別交通量（対前年比）

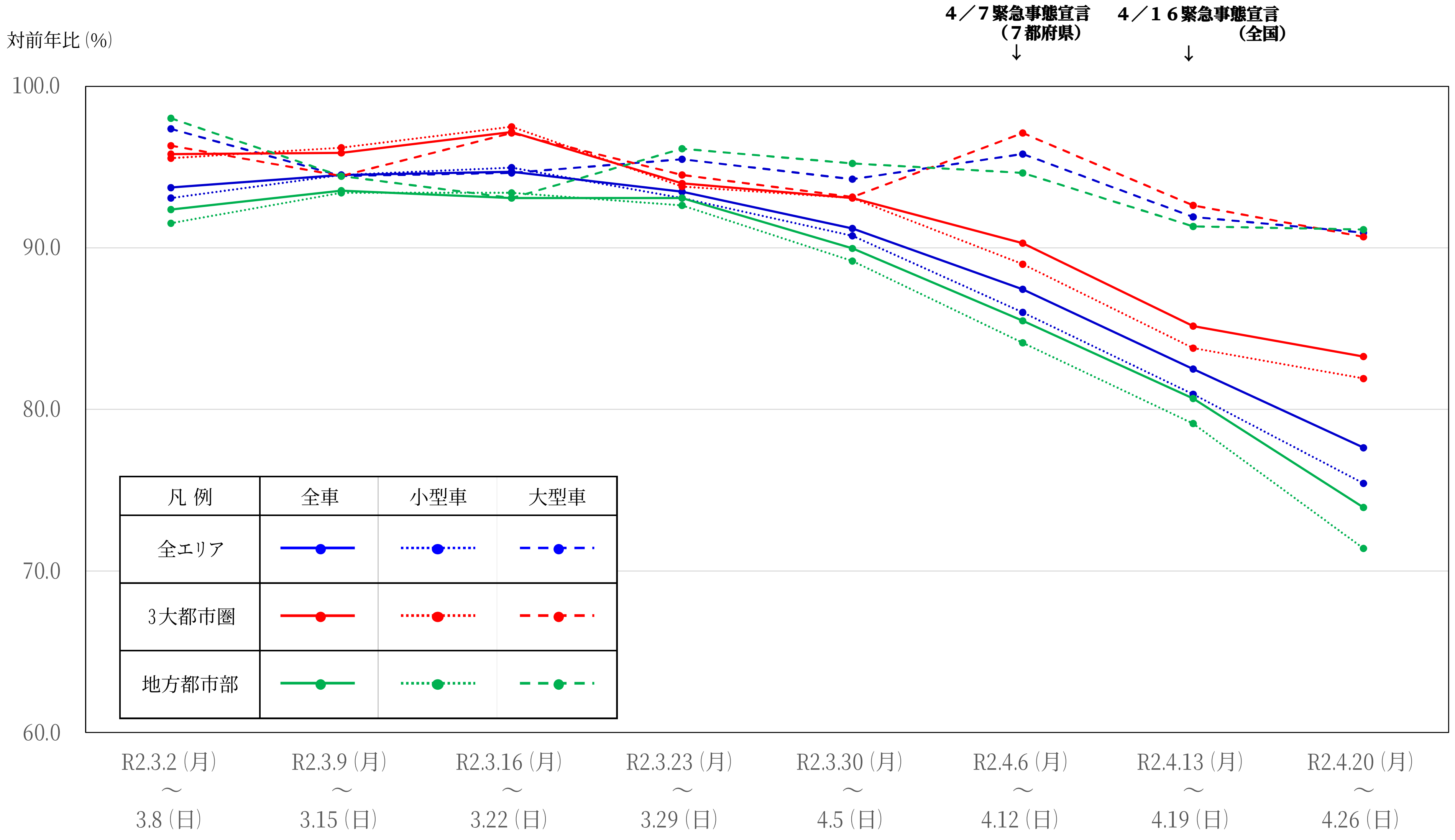
全国の高速道路の主な区間の交通量増減（対前年比）　[週別]

令和２年５月１９日現在



注１：繁忙期（GW、お盆、年末年始）に発表する高速道路の交通状況と同様の手法で速報値を算出
注２：「NEXCO＋本四」は代表４０断面による平均交通量による速報値（トラカン等による計測）により算出
注３：「首都高速」、「阪神高速」は料金所通過台数による速報値

主要国道の週別交通量（対前年比）

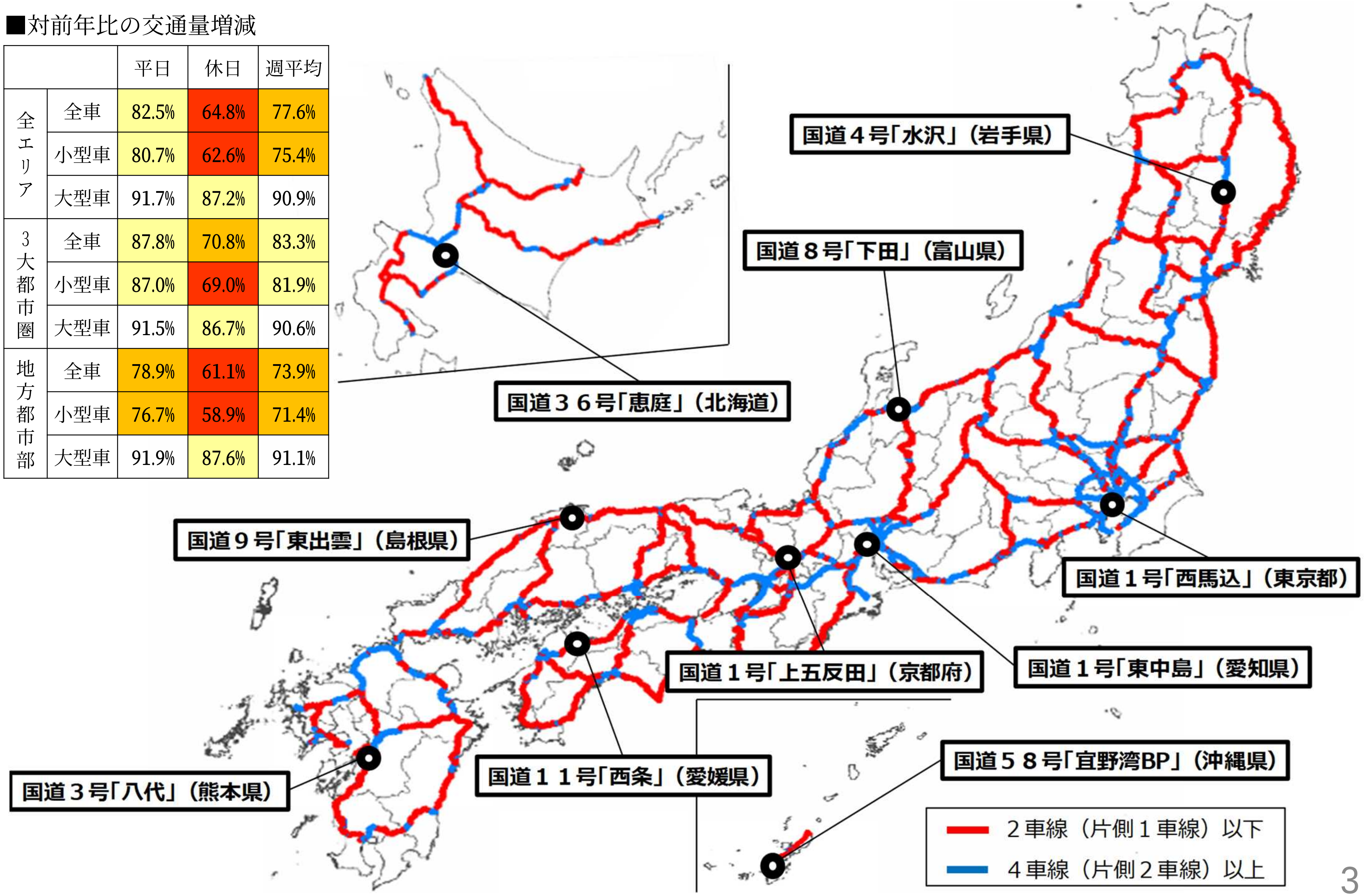


注１：代表１０断面による平均交通量による速報値（トラカンによる計測）により算出

主要国道の4月20日(月)～4月26日(日)の交通量(対前年比)

■対前年比の交通量増減

		平日	休日	週平均
全エリア	全車	82.5%	64.8%	77.6%
	小型車	80.7%	62.6%	75.4%
	大型車	91.7%	87.2%	90.9%
3大都市圏	全車	87.8%	70.8%	83.3%
	小型車	87.0%	69.0%	81.9%
	大型車	91.5%	86.7%	90.6%
地方都市部	全車	78.9%	61.1%	73.9%
	小型車	76.7%	58.9%	71.4%
	大型車	91.9%	87.6%	91.1%



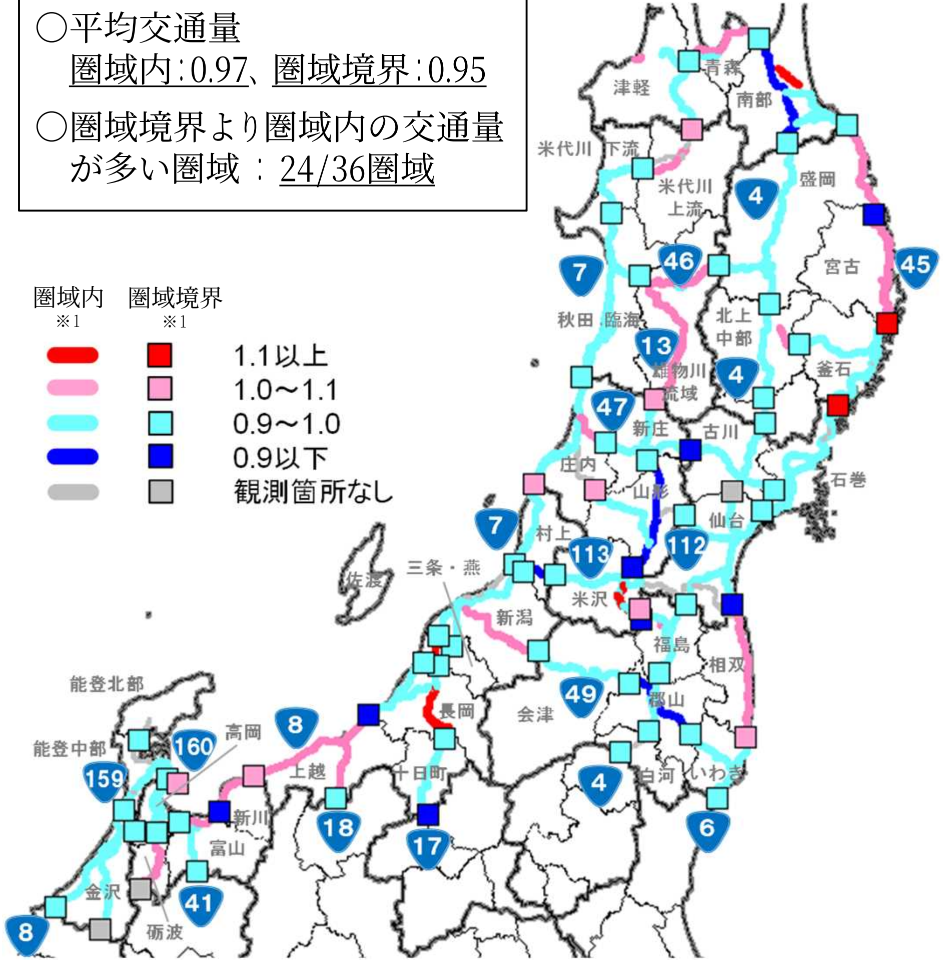
東北地方・北陸地方における交通量（対前年比）＜小型車＞

＜平日・小型車＞

3月4週目
令和2年3月23日(月)～3月29日(日)
平成31年3月25日(月)～3月31日(日)

○平均交通量
圏域内：0.97、圏域境界：0.95
○圏域境界より圏域内の交通量が多い圏域：24/36圏域

圏域内 ※1	圏域境界 ※1	
赤線	赤■	1.1以上
桃線	桃■	1.0～1.1
水色線	水色■	0.9～1.0
青線	青■	0.9以下
灰線	灰■	観測箇所なし

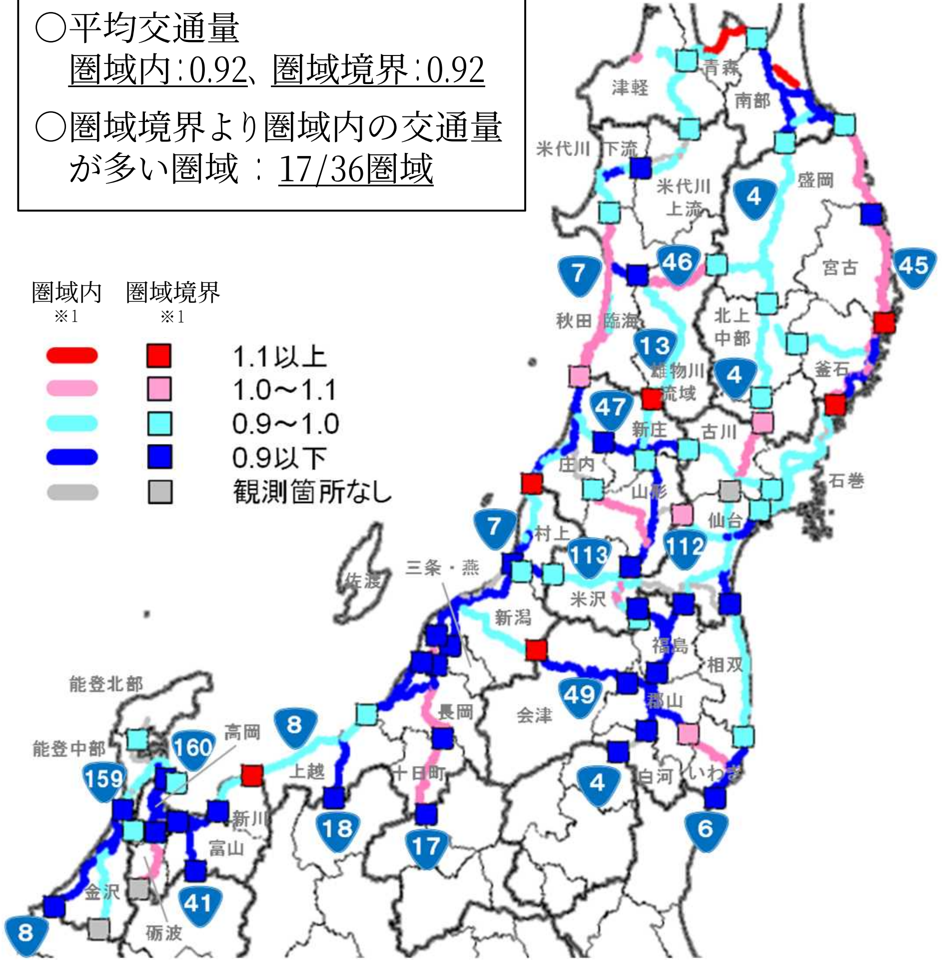


＜休日・小型車＞

3月4週目
令和２年3月23日(月)～3月29日(日)
平成31年3月25日(月)～3月31日(日)

○平均交通量
圏域内：0.92、圏域境界：0.92
○圏域境界より圏域内の交通量が多い圏域：17/36圏域

圏域内 ※1	圏域境界 ※1	
赤線	赤■	1.1以上
桃線	桃■	1.0～1.1
水色線	水色■	0.9～1.0
青線	青■	0.9以下
灰線	灰■	観測箇所なし



※1 「圏域境界」については、路線ごとに生活圏（全国幹線旅客純流動調査の全国207ゾーン）の圏域境界に最も近いトラフィックカウンターを採用。
「圏域内」については、圏域境界以外のトラフィックカウンターを採用。

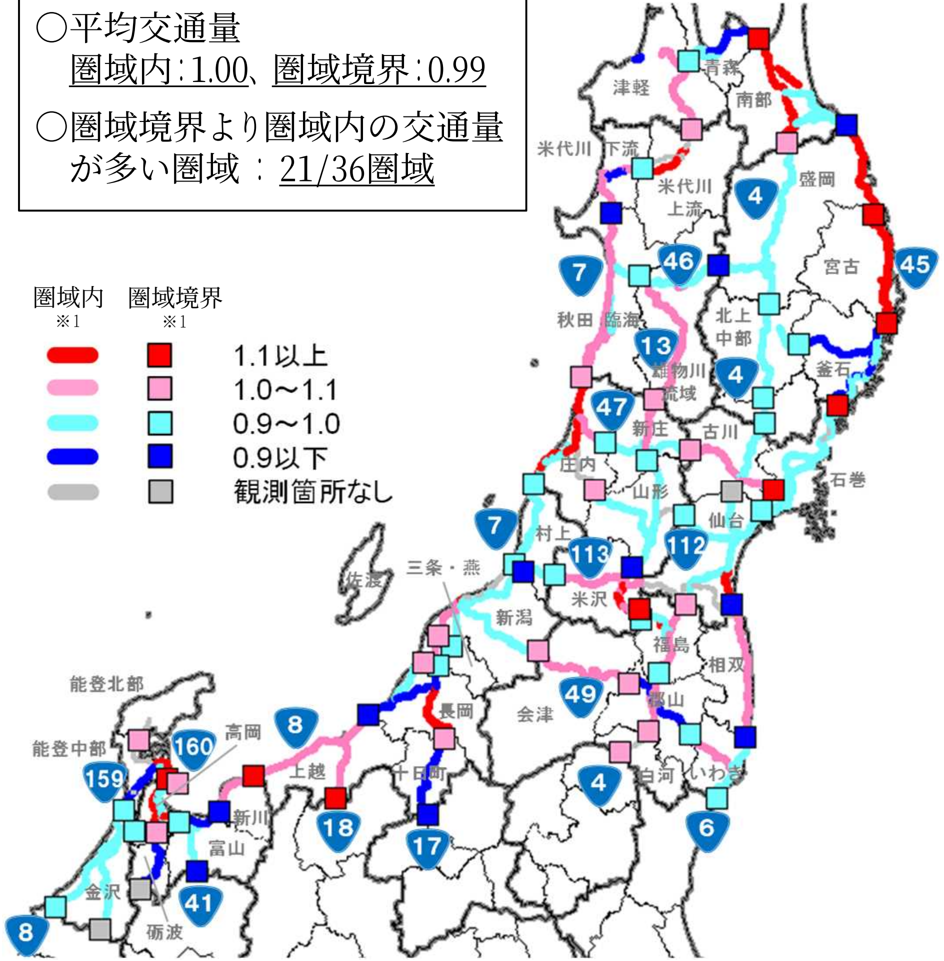
東北地方･北陸地方における交通量（対前年比）＜大型車＞

＜平日･大型車＞

3月4週目
令和2年3月23日(月)～3月29日(日)
平成31年3月25日(月)～3月31日(日)

○平均交通量
　圏域内：1.00、圏域境界：0.99
○圏域境界より圏域内の交通量が多い圏域：21/36圏域

圏域内 ※1　圏域境界 ※1
- 1.1以上
- 1.0～1.1
- 0.9～1.0
- 0.9以下
- 観測箇所なし

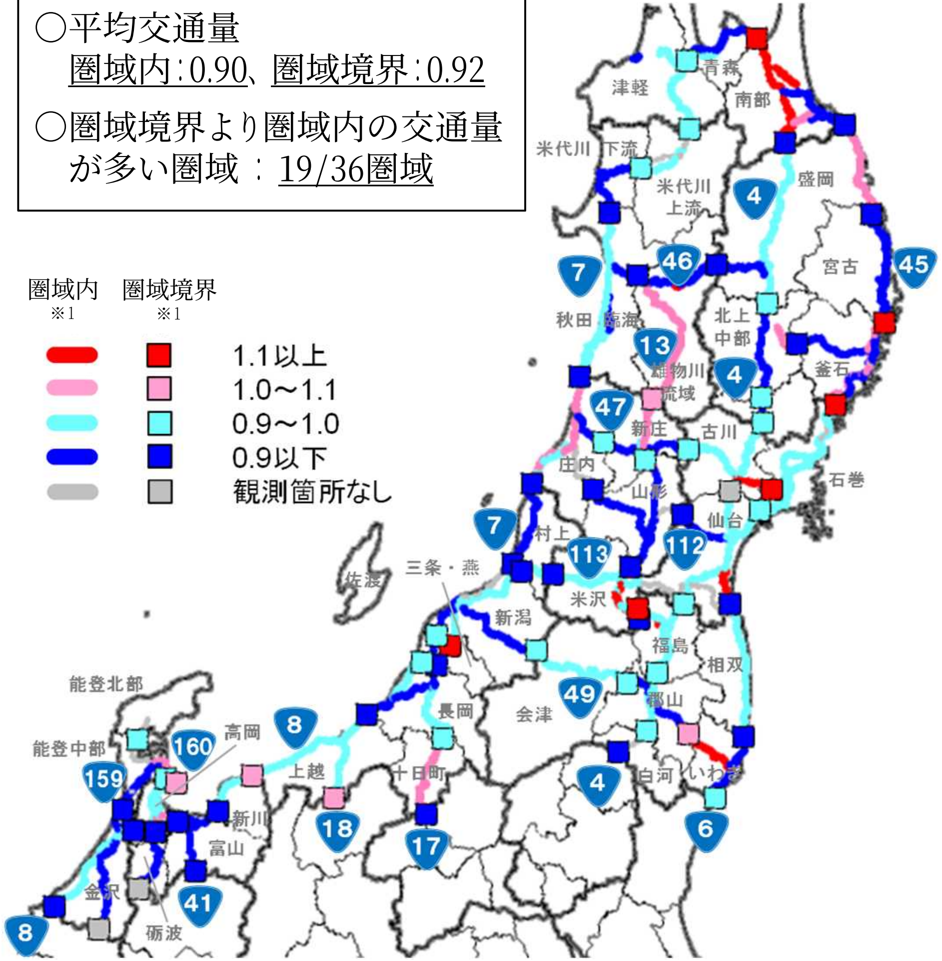


＜休日･大型車＞

3月4週目
令和2年3月23日(月)～3月29日(日)
平成31年3月25日(月)～3月31日(日)

○平均交通量
　圏域内：0.90、圏域境界：0.92
○圏域境界より圏域内の交通量が多い圏域：19/36圏域

圏域内 ※1　圏域境界 ※1
- 1.1以上
- 1.0～1.1
- 0.9～1.0
- 0.9以下
- 観測箇所なし



※1 「圏域境界」については、路線ごとに生活圏（全国幹線旅客純流動調査の全国207ゾーン）の圏域境界に最も近いトラフィックカウンターを採用。
　「圏域内」については、圏域境界以外のトラフィックカウンターを採用。

東北地方･北陸地方における交通量（対前年比）＜圏域内･圏域境界の平均交通量等＞

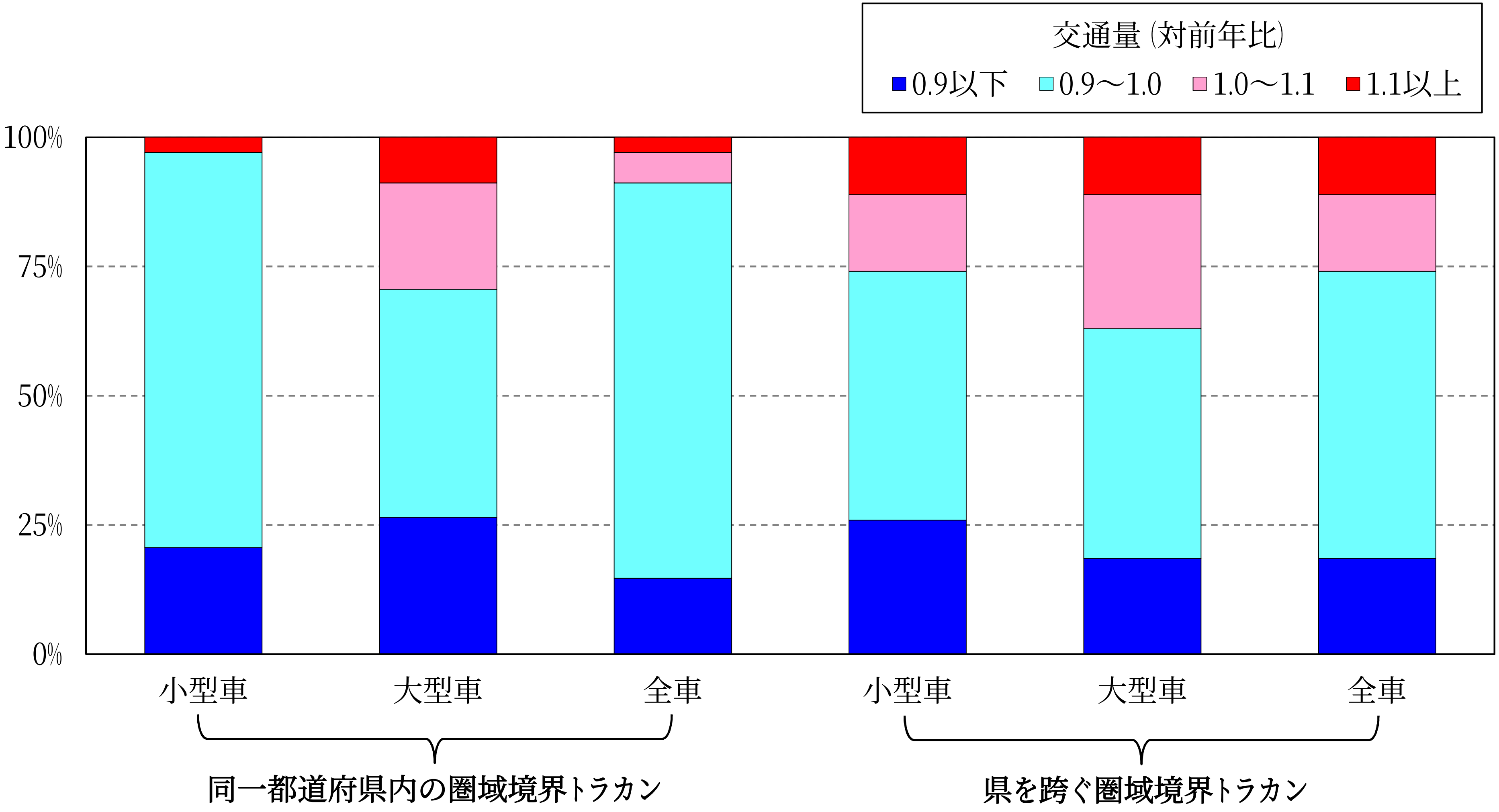
○ 平均交通量をみると、圏域境界の交通量の方が、圏域内に対して減少している傾向。
○ 圏域数を整理すると、小型車･平日について、「圏域内の交通量の方が多い圏域」が特に多い。

		交通量（対前年比）		圏域数	
		圏域内	圏域境界	圏域内の交通量の方が多い圏域	圏域境界の交通量の方が多い圏域
全車	週平均	0.96	0.95	20圏域	16圏域
	平日	0.98	0.96	23圏域	13圏域
	休日	0.92	0.92	15圏域	21圏域
小型車	週平均	0.96	0.94	21圏域	15圏域
	平日	0.97	0.95	24圏域	12圏域
	休日	0.92	0.92	17圏域	19圏域
大型車	週平均	0.98	0.97	20圏域	16圏域
	平日	1.00	0.99	21圏域	15圏域
	休日	0.90	0.92	19圏域	17圏域

※1 「圏域境界」については、路線ごとに生活圏（全国幹線旅客純流動調査の全国207ゾーン）の圏域境界に最も近いトラフィックカウンターを採用。
「圏域内」については、圏域境界以外のトラフィックカウンターを採用。
※2 対象期間は3月4週目　令和2年3月23日(月)～3月29日(日)　平成31年3月25日(月)～3月31日(日)

東北地方･北陸地方における交通量（対前年比）＜圏域境界の交通量＞

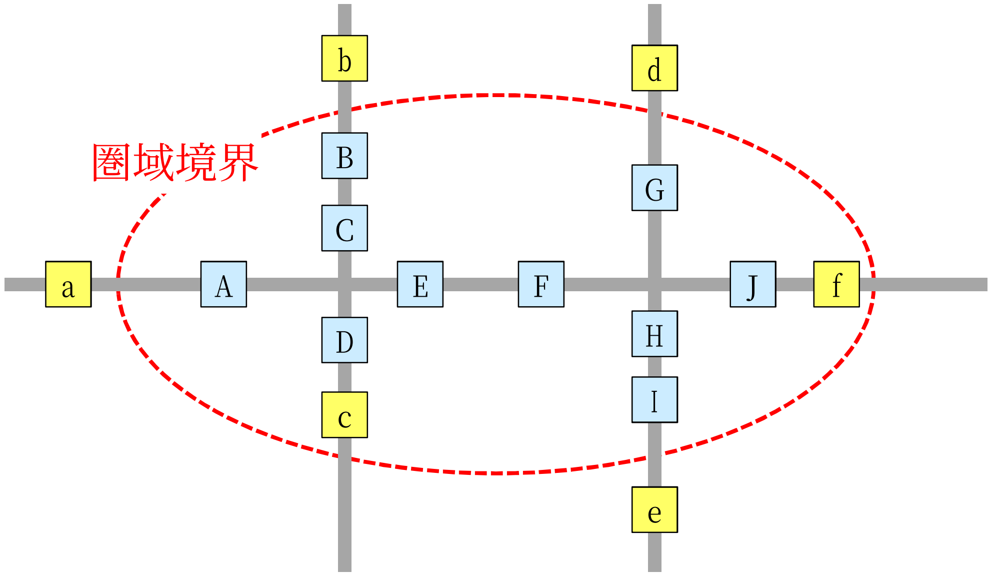
○ 圏域境界においては、交通量が減少しているものが多い一方で、圏域境界トラカンを同一都道府県内か、県を跨ぐかで区分すると、県を跨ぐものであっても交通量が増加しているものも存在。

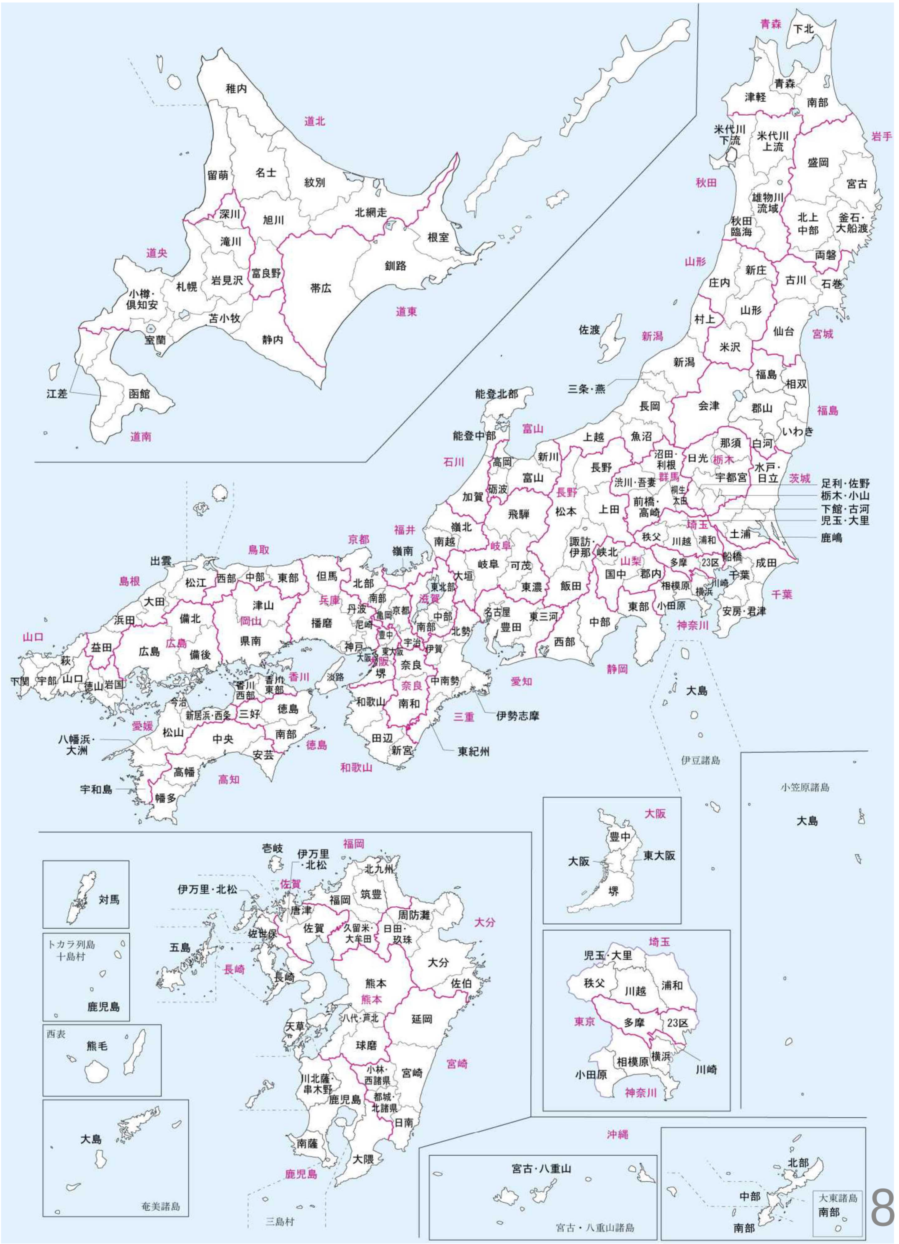


※1 「圏域境界」については、路線ごとに生活圏（全国幹線旅客純流動調査の全国207ゾーン）の圏域境界に最も近いトラフィックカウンターを採用。
「圏域内」については、圏域境界以外のトラフィックカウンターを採用。
※2 対象期間は3月4週目　令和2年3月23日(月)～3月29日(日)　平成31年3月25日(月)～3月31日(日)

【参考】東北地方･北陸地方における交通量（対前年比） 分析方法について

- ○「全国幹線旅客純流動調査」は、幹線交通機関における旅客流動の実態を定量的かつ網羅的に把握することを目的とした調査で、5年に1回実施。
- ○「全国幹線旅客純流動調査」では、都道府県ごとに圏域を区分した全国207 ゾーンの生活圏間の秋期1日（平日･休日）及び1年間の幹線旅客流動を集計。
- ○ 今回の分析では、207のそれぞれの圏域において、道路ごとに圏域境界に最も近いトラカンの平均交通量（対前年比）を「圏域境界交通量」、その他のトラカンの平均交通量（対前年比）を「圏域内交通量」として算出。



圏域内交通量（対前年比）：トラカン「A～J」の平均
圏域境界交通量（対前年比）：トラカン「a～f」の平均

＜全国幹線旅客純流動調査における207圏域＞